

授業科目名	公衆衛生学	単位数	2単位
担当教員名	澁木琢磨	担当形態	単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
「学位授与の方針」との関係			
DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）			
授業のテーマ及び到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・公衆衛生とは何かを理解できる</li> <li>・人、地域、社会の健康維持、あるいは生活の質の向上のために何が必要かを考えることができる</li> <li>・子どもの健康を理解し、教育現場における子どもの健康との向き合う方を考えることができる</li> </ul>			
授業の概要			
<p>新型コロナウイルス感染症を通して、公衆衛生の重要性が取り上げられた。しかしながら公衆衛生学において、感染症はその一側面に過ぎず、実際には多角的視点から人、地域、社会の健康を検討する学問である。</p> <p>本講義は公衆衛生を理解するとともに、自身が地域、社会の健康のためにできることを検討できるようになることを目指す。また教育現場における子どもの健康との向き合い方を思案するきっかけとする。</p>			
授業計画			
第1回 健康とは 第2回 疫学 第3回 保健統計 第4回 感染症 第5回 食中毒 第6回 栄養 第7回 地域保健 第8回 成人保健 第9回 高齢者保健 第10回 母子保健 第11回 子どもの健康 第12回 学校健診 第13回 学校環境 第14回 産業保健 第15回 環境保健			
スクーリングでの学修			
子どもの健康に関する話題に対して、健康を維持・増進していくためにはどのような取り組みが必要であるかを検討する。			
テキスト			
メディックメディア（2024）、公衆衛生が見える 2024-2025, 978-4896329285			
参考書・参考資料等			
厚生労働統計協会, 国民衛生の動向 2023/2024（第70巻第9号）			
学生に対する評価			
スクーリング評価（25%）、レポート評価（25%）、科目修得試験（50%）			